

医療的ケア児の在宅避難の支援(2024)について

2024年1月4日(木)

医療機関等の災害対策コンサルティングを展開する弊社ではこのたび、人工呼吸器等の生命維持管理装置を在宅で使用中の医療的ケア児の災害対策を支援する社会貢献事業を開始します。

弊社代表は電気工事士として建設現場、臨床工学技士として臨床現場の実務経験を積み、その両経験に基づく災害対策を専門サービスとしてコンサルティングしております。弊社のお客様である医療機関や介護施設は規模の大きさ、社会的責任の重さから有償でサービスを購入して頂いておりますが、患家では1人の患者のために費用負担することは難しく、一方で住居は個別性が高いため標準化が難しいという課題があります。

弊社ノウハウが患家の防災に役立つのではないかと考えておりますが、有償サービスとして顧客を獲得するためには相応の宣伝広告費や営業費をかけ、また患家にも費用負担してもらわなければなりません。人工呼吸器を装着した医療的ケア児は5年間で1.5倍に増え、今後も増加が予想されるため、このまま待ち続けているのは全家に災害対策が行き届く時期がまったく見えない状況であります。

そこで弊社では今年、希望する患家を訪問あるいはビデオ会議などの方法を用いて、専門的なコンサルティングサービスを無償提供する事業を開始することとしました。当初は医療的ケア児の診療を多く担っている大阪府立母子医療センターおよび国立成育医療センターの患者を中心に、なるべく経費を使わずに1人でも多くの方々にご利用してもらえよう準備を進めて参ります。

旅費や材料費などの実費は寄付などによりまかないたいと考えておりますが、まだその方法がないため弊社の用意できる予算の中で工面していきたいと考えております。

弊社では一般住宅における停電時の対策方法を研究しており、実際に52時間の停電も経験しましたが、電気製品を使い続けることができました。人工呼吸器よりも高負荷であるエアコンや冷蔵庫も使う事ができました。また、人工呼吸器停止時に代替する用手換気装置(Bag Valve Mask)の長時間使用に係る自験例もあり、エビデンスに基づいた療養住環境最適化のシーズがあります。

人工呼吸器を装着した状態で災害時に歩き回るのは大変危険です。自宅に留まる事ができるための備えがあれば外出する必要もなくなるため、その方法について助言や提案をする予定です。

この事業を通じ、1人の生命を失わない社会に一步でも近づく事を目指します。

記

- 標 題 : 医療的ケア児の在宅避難の支援
方 法 : 弊社の医療BCPコンサルタントが患家訪問またはビデオ会議で対策を助言・提案
要 件 : 医療的ケア児の居る患家
費 用 : コンサルフィーは無料(弊社負担)
旅費交通費や材料費などの実費は弊社以外が負担(寄付などを想定するが当面は弊社負担)
時 期 : 2024年1月4日より2024年9月30日まで、あるいは旅費等の資金が尽きた日
サイト : <https://www.24med365.net/2024/01/child-needs/>
問合先 : NES株式会社 お客様係 info@24med365.net

以上